

# 平成27年度事業報告

## 1 事業活動の概要

当会は、昭和41年に社団法人として設立されましたが、その後の公益法人改革に伴い、平成25年4月1日に「一般社団法人 科学技術と経済の会」に移行しました。平成27年度は移行後3年目に当たり、前年度に引き続き公益目的支出計画の確実な遂行と、収益事業の充実などに努めました。

創立以来、当会は技術と経営の両輪に立脚し、我が国産業界のグローバルな発展に資するべく、経営研究、人材育成、普及啓発、国際交流、受託・助成調査研究など、広く交流・研鑽の場を提供してまいりました。平成27年度も、会員の主体的な活動を軸とし、事務局と一体となって、質の高い活動の継続的な実施、自立した事業の強化による経営体力強化、会員の維持・増強による活動基盤の安定化等を図るとともに、産官学の効果的なネットワーク化の推進に積極的に取り組みました。

当会を取り巻く本年度の経営環境についてみると、通年のGDP成長率は0.59%と微増ながら、不透明感漂う海外諸情勢の環境下では着実な経済の歩みを遂げたといえます。一方、金融政策頼りでは景気の本格的な好循環には至らないことも明らかであり、民間活力により新成長戦略を切り開いていく必要があります。当会の活動を通し、異業種交流による多種多様な思考や新技術の攪拌・昇華により更なる成長と新たな創造への着火剤となるべく活動を推進してまいりました。

経営研究事業としては従来通り「技術経営会議」と「明日の経営を考える会」を二本柱とし、その他、ホットなトピックを専門的に扱う研究会も併せて実施致しました。

「技術経営会議」では「オープンイノベーションと新産業創造」を主テーマに掲げ、社会インフラとレジリエンス専門委員会、サービス・イノベーションと技術経営懇談会、など時代の要請にあった具体テーマによる委員会を開催し、更に年度末には新たに健康長寿とイノベーション専門委員会を発足させるなど、新たな領域への挑戦を実施しました。また、例年9月に実施している軽井沢本会議では若手の参加を促すなど新施策を採用し、過去最大の参加者（131名、内女性26）をえて、盛況に終了しました。魅力的なコンテンツ提供及び積極的な会員勧誘活動の結果、5社の新規加入に繋げることができました。

「明日の経営を考える会」では、「マネジメント研究会」、「ワーキングライフ研究会」など、若手の人材育成活動の一層の充実を図りました。前者は、「いかにイノベティブな企業にするか」をテーマとして研究しました。また後者は、“女性がいきいきと働けるワークライフマネジメン

トを考える”をテーマとし女性が主体的にダイバーシティー推進に取り組む場を設定し活発な交流を図りました。

「技術競争戦略研究会」については、“日本から世界へ飛躍するオンリーワン企業経営に学ぶ実践的経営学”をテーマに、第Ⅺ期の研究会を実施しました。本研究会のユニークな視点に参加者の関心が高く、引き続き平成28年4月より第Ⅻ期の研究会をスタート致しました。

「アジアビジネス研究会」については、平成25年度に第Ⅰ期研究会を立ち上げ、平成27年度には継続して第Ⅲ期研究会を開催しました。第Ⅲ期研究会では、タイ・カンボジアに訪問団を派遣し、アジア諸国の産業政策、特にリスクマネジメントに関する現地調査を行うなど、アジアビジネス状況の理解を促進しました。

「ライフサイクル・メンテナンス研究会」は社会インフラのライフサイクル全体を見通したメンテナンスのあり方の研究を長期に亘って継続していますが、会員の関心度は相変わらず高く、魅力的なメンテナンス事業という新たなビジネスモデル創出を検討する視点で、現場見学会ならびに講演会を実施しました。

センサーネットワーク研究会ではこの分野の研究推進、ビジネス化の課題等を認識・議論する研究会を開催しました。

人材育成事業については上記経営研究事業等を通じて人材育成の強化に努めるとともに、人材育成に焦点を絞った受託型、オーダーメイド型の「ICT研究会」については、トップマネジメントとのディスカッションや現場研修等の充実強化を図り、主体性のある自立型の闊達な人材の育成に努めました。さらに6年目となる第6期研究会を開講すべく準備を進めました。

普及啓発事業としても積極的にその充実強化に努めました。まず、「技術経営・イノベーション賞」については、平成27年度には第4回の表彰対象の選定を行い、平成28年2月にその表彰を実施しました。(文部科学大臣賞1件、経済産業大臣賞1件、当会会長賞3件、当会会長特別賞1件)。「技術経営・イノベーションシンポジウム」については、平成27年6月に“第3回科学技術・イノベーション賞”の受賞者による記念講演会を実施しました。

月刊機関誌「技術と経済」については、JATES掲載論文を中心に、MOT学会投稿論文、(国研)科学技術振興機構(JST)投稿論文など、内容の充実を図り、平成27年度末で第589号を発行するに至りました。

「支部活動」については、平成 27 年度も名古屋支部において、談話会・講演会・企業見学会など、月 1 回のペースで積極的な充実した活動が展開されました。

受託・助成事業については、(一財)新技術振興渡辺記念会からの調査研究を中心に参画させて頂きました。なお、一般社団法人技術同友会から受託している同会の事務局業務については、同会の積極的な活動展開に伴い、例会、幹事会、委員会、シンポジウム、技術経営士関連業務などに参画しました。

会員の状況については、特別会員(法人会員)では新規入会 6 社、退会 5 社(年度末で計 9 2 社)と微増ながら、長期的な逡減傾向には歯止めがかかった状況となりました。また、新規加入には(株)ぐるなび様、(株)ジョルダン様、など従来にない範疇の会員の加入をいただき、当会にも新風を吹き込んで頂けるのではないかと期待が膨らんだ一年となりました。一方、個人会員については会員の高齢化が進み退会者が増えたために新規入会 6 名、退会 6 2 名(年度末で 4 1 3 名)となりました。個人会員については本格的な対策が今後の課題として残りました。“永年会員表彰関係”については、特別会員 2 社、個人会員 1 2 名に対し、第 49 回総会において表彰を行いました。

上記活動の結果、全体収入は前年度比微減となりましたが、事業収入増の努力と徹底した経費節約を行い、年度事業合計収支の均衡を図る事が出来ました。平成 27 年度、関係各位のご支援、ご協力により、当初の事業計画を達成する事が出来ましたことを厚くお礼を申し上げます。

## 2 経営研究事業

### 2-1 技術経営会議

平成 27 年度は重点方針である“交流・発信・育成”を柱にさらなる改革・発展に向けて業務に取り組みました。この結果、各種会合への参加者は二年前のおよそ 2 倍になり、特に女性参加者も増加し、議論や交流が活性化しました。主な活動内容は以下の通りです。

議長	(株)NTTデータ	相談役	山下 徹 氏	
副議長	(株)大林組	取締役専務執行役員 技術本部長	三輪 昭尚 氏	
	(9/14～)	(株)竹中工務店	執行役員 技術本部長	谷口 元 氏
副議長	日本電気(株)	執行役員	江村 克己 氏	

◇本会議		
開催日	内 容	開催場所
第 83 回本会議 平成 27 年 9 月 13 日 ～9 月 14 日	<p>審議事項：活動報告、決算報告、次期役員選任</p> <p>特別講演 1：第 5 次科学技術基本計画とイノベーション推進に向けて 講師：内閣府 政策統括官 森本 浩一 氏</p> <p>特別講演 2：技術の出口 高収益事業の創り方 講師：神戸大学大学院 経営学研究科教授 三品 和広 氏</p> <p>特別セッション ラウンドテーブル討論 2015</p> <p>テーブル 1 テーマ：科学技術基本計画と産業界の役割 司会：技術経営会議議長 NTT データ(株)相談役 山下 徹 氏</p> <p>テーブル 2 テーマ：システム化(複合・連携)時代における技術戦略 司会：技術経営会議副議長 日本電気(株)執行役員中央研究所担当 江村 克己 氏</p> <p>テーブル 3 テーマ：選択肢豊かな未来社会に向けて若手・女性はいかに行動するか 司会：内閣府総合科学技術・イノベーション会議議員 原山 優子 氏</p> <p>特別講演 3：製造業の革新と IT の融合～インダストリー 4.0 への挑戦 講師：日本経済新聞社 編集委員 関口 和一 氏</p> <p>特別対談：イノベーションと未来産業創造 出席：トヨタ自動車(株) 代表取締役会長 内山田 竹志 氏 (一社)科学技術と経済の会 会長 野間口 有 氏 日本経済新聞社 編集委員 関口 和一 氏</p> <p>社会インフラとレジリエンス専門委員会 最終報告 委員長：技経会副議長 (株)大林組 取締役専務執行役員三輪 昭尚 氏</p> <p>特別講演 4：宇宙、人、夢をつなぐ 講師：元宇宙飛行士 山崎 直子 氏</p>	軽井沢プリンスホテル
第 84 回本会議 平成 28 年 2 月 15 日	<p>特別講演：繋がる世界におけるサイバーセキュリティの問題と対策 講師：情報セキュリティ大学院大学 学長 田中 英彦 氏</p>	ホテル グランドパレス
◇定例会		
第 87 回 平成 27 年 6 月 9 日	<p>第 2 回技術経営・イノベーションシンポジウム</p> <p>講演 1：世界 No.1 精度の顔認証技術で安心・安全な社会の実現に貢献 講師：日本電気(株) 情報・メディアプロセッシング研究所 主席研究員 今岡 仁 氏</p> <p>講演 2：アミノインデックス R の事業化～がんリスクスクリーニングと将来像～ 講師：味の素(株) 研究開発企画部 シニアアドバイザー 吉元 良太 氏</p> <p>講演 3：外食業界にかつてない“情報問屋”を目指す 講師：(株)ぐるなび 取締役 常務執行役員 渡辺 昌宏 氏</p> <p>講演 4：安全計装システム ProSafe-RS の事業化：タブーへの挑戦 講師：横河電機(中国)有限公司 副総経理戦略発展事業本部本部長 安藤 忠明 氏</p> <p>講演 5：人工抗体技術を海外でスピンオフ事業化する 講師：Apta Biosciences Pte Ltd Chief Technology Officer 藤田 省三 氏</p>	日比谷図書文化館
第 88 回 平成 27 年 11 月 10 日	<p>講演：科学技術情報の解析で分かること 講師：トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株) 代表取締役 長尾 正樹 氏</p> <p>特別講演 I：最近の中国経済の動向について 講師：(株)ニッセイ基礎研究所 上席研究員 三尾 幸吉郎 氏</p> <p>特別講演 II：エネルギー政策の動向 講師：経済産業省 資源エネルギー庁 吉野 恭司 氏</p>	

◇代表者懇談会		
第 18 期第 3 回 平成 27 年 4 月 14 日	講演：企業を取り巻く環境変化-新たな競争の構図と産業の新潮流- 講師：東レ経営研究所産業経済調査部門長チーフエコノミスト 増田 貴司 氏	JATES 会議室
第 18 期第 4 回 平成 27 年 5 月 12 日	講演：日本の格差問題を考える～ピケティ著『21 世紀の資本』 からの示唆 講師：(株)ニッセイ基礎研究所 社会研究部 主任研究員 土堤内 昭雄 氏	
第 19 期第 1 回 平成 27 年 10 月 6 日	講演：第 4 次産業革命を見据えた変革 講師：経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長 佐野 究一郎 氏	
第 19 期第 2 回 平成 27 年 12 月 1 日	講演：米国ベンチャーキャピタルとオープンイノベーション 講師：みやこキャピタル(株)代表パートナー 菅谷 常三郎 氏	
第 19 期第 3 回 平成 28 年 1 月 19 日	講演：『ホンダジェットの開発』-先端技術で世界の航空機産業に挑む- 講師：ホンダエアクラフトカンパニーLLC CEO 藤野 道格 氏	ホテルグラ ンドパレス
◇政策委員会 委員長：(株)NTTデータ相談役 技術経営会議議長 山下 徹 氏		
第 12 回 平成 27 年 4 月 8 日	講演：臨床研究をめぐる最近の動きについて～再生医療の実用化を中心に 講師：厚生労働省 医政局 研究開発振興課長 (再生医療等研究推 進室長 併任) 神ノ田 昌博 氏	JATES 会議室
第 13 回 平成 27 年 5 月 20 日	講演：今後の情報政策について 講師：経済産業省 商務情報政策局長 富田 健介 氏	
第 14 回 平成 27 年 7 月 7 日	講演：新たな段階に入った ICT 政策 講師：総務省 情報通信国際戦略局長 鈴木 茂樹 氏	
第 15 回 平成 28 年 3 月 3 日	講演：人工知能：ディープラーニングの先にあるもの 講師：東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻 特任准教授 松尾 豊 氏	
◇社会インフラとレジリエンス専門委員会 委員長：(株)大林組取締役専務執行役員技術本部長 三輪 昭尚 氏		
第 8 回 平成 27 年 4 月 21 日	講演：首都水没 講師：公益財団法人リバーフロント研究所 理事・技術参与 土屋 信行 氏	JATES 会議室
第 9 回 平成 27 年 6 月 4 日	講演：災害時医療のレジリエンス 講師：工学院大学建築学部 教授 笥 淳夫 氏	
第 10 回 平成 27 年 8 月 19 日	講演：インフラをめぐる最近の状況について 講師：国土交通省 総合政策局 事業総括調整官 佐藤 寿延 氏	
◇サービスイノベーションと技術経営 懇談会 委員長：(株)ぐるなび 代表取締役会長 創業者 滝 久雄 氏		
第 1 回 平成 27 年 5 月 20 日	政策委員会と合同	JATES 会議室
第 2 回 平成 27 年 6 月 24 日	講演：産業のサービス化の現状と今後の課題 講師：東京工業大学大学院 教授 田辺 孝二 氏	ホテルグラ ンドパレス
第 3 回 平成 27 年 7 月 7 日	政策委員会と合同	JATES 会議室
第 4 回 平成 27 年 7 月 30 日	講演：イノベーションにサービスの概念を含まないものはない 講師：一橋大学 イノベーション研究センター 教授 米倉 誠一郎 氏	
第 5 回 平成 27 年 9 月 13 日	第 83 回本会議と合同 (講演：『技術の出口』、三品 和弘 氏)	軽井沢プリ ンスホテル
第 6 回 平成 27 年 10 月 27 日	本会議ラウンドテーブル論点、全米競争力協議会レポート、 論文「変わるべき製造業、変わるべきサービス業」について	JATES 会議室

第7回 平成27年11月26日	サービスイノベーション推進の政策や環境課題について	JATES 会議室
第8回 平成28年3月3日	政策委員会と合同	JATES 会議室
◇ 健康長寿社会とイノベーション専門委員会 委員長：(株)竹中工務店 執行役員技術本部長 谷口 元 氏		
第1回 平成28年3月23日	講演：健康寿命延伸の意義と課題 講師：内閣官房 健康・医療戦略室次長 藤本 康二 氏	ホテルグラ ンドパレス

## 2-2 明日の経営を考える会

「特徴化経営の推進」を指向する異業種企業が集まり、新しい企業環境に適応する経営研究を進めるとともに、会員相互の交流を強化するため以下のとおり事業活動を推進しました。

[平成27年度活動方針]

1. 体制の充実と参加者の維持・増強によりメンバー満足度の向上を図る
2. 企業経営に役立つ情報の発信流通基地とする

代表幹事 日本電業工作(株) 相談役 岩本 眞 氏  
代表幹事 (株)協和エクシオ 代表取締役会長 石川 國雄 氏

◇例会		
開催日	内 容	開催場所
第145回 平成27年5月29日	平成26年度「ワキングライフ研究会」「マネジメント研究会」成果報告 ・ワキングライフ研究会テーマ：企業で働く価値をデザインする ・マネジメント研究会テーマ：2030年における勝ち残りをかけた企業の経営戦略を考える	ホテルグラ ンドパレス
第146回 平成27年8月27日	講演1：日本政治の行方 講師：NHK 解説副委員長 島田 敏男 氏 講演2：『女性が日本を救う』って本当なの？ — いま女性活躍推進が求められる理由 — 講師：ジャーナリスト、淑徳大学人文学部表現学科長教授 野村 浩子 氏	
第147回 平成27年11月19日	平成27年度「ワキングライフ研究会」「マネジメント研究会」中間報告 ・ワキングライフ研究会テーマ：女性がいきいきと働けるワーク ライフマネジメントを考える ・マネジメント研究会テーマ：いかにイノベティブな企業にするか	
第148回 平成28年1月21日	講演：人間中心の認知症情報学による高齢社会のデザイン 講師：静岡大学大学院 教授 竹林 洋一 氏 会員企業からのショート講演（会社紹介） 1. (株)協和エクシオ 2. 日本電業工作(株)	
個別講演会 2016年3月1日	講演：イノベーションの取り組み 講師：東京大学 名誉教授 丹羽 清 氏	JATES 会議室
第149回 2016年3月11日	講演：『企業広報』とはなにか 講師：(株)パーソン・マーステラ 代表取締役社長 福永 朱里 氏 会員企業からのショート講演（会社紹介） 1. 日立化成(株) 2. 日本コムシス(株)	ホテルグラ ンドパレス

◇代表者・幹事会		
第 134 回 平成 27 年 5 月 14 日	審議事項：2014 年度決算、平成 27 年度活動予算 報告事項：平成 27 年度活動状況、活動予定 テーマ：産業用ロボットの現状と課題 スピーチ：日本ロボット学会 前会長 三菱電機(株) FA システム事業本部 主席技監 小平 紀生 氏	JATES 会議室
第 135 回 平成 27 年 9 月 10 日	報告事項：平成 27 年度活動状況、活動予定 テーマ：宇部エクシモのコア技術と高強度高弾性オレフィン系複合繊維技術とその応用 スピーチ：宇部エクシモ(株) 執行役員 事業本部 副本部長 山下 隆之 氏 新規事業開発部長 足立 龍彦 氏 新規事業開発部 担当部長 横北 昌彦 氏	
第 136 回 平成 28 年 2 月 18 日	審議事項：平成 28 年度活動計画（事業活動、活動予算） 報告事項：平成 27 年度活動状況 テーマ：リン酸化セルロース・ナノファイバー スピーチ：王子ホールディングス(株)イノベーション推進本部 本部長 横山 勝 氏	
◇マネジメント研究会		
	コーチ：東京大学 名誉教授 丹羽 清 氏 テーマ：いかにイノベティブな企業にするか 平成 27 年度参加会員企業：8 社 12 名 ・キックオフ会議（平成 27 年 6 月 16 日） ・合宿（平成 27 年 7 月 3, 4 日：晴海グランドホテル） ・合同研修会（平成 27 年 7 月 21 日） ・中間報告（平成 27 年 11 月 19 日）	JATES 会議室
◇ワーキングライフ研究会		
	テーマ：女性がいきいきと働けるワークライフマネジメントを考える 平成 27 年度参加会員企業：8 社 12 名 ・キックオフ会議（平成 27 年 6 月 23 日） 講演：日立グループにおける経営戦略としてのダイバーシティ推進 講師：(株)日立製作所 人財統括本部ダイバーシティ推進センタ 部長代理 武内 和子氏 ・中間報告（平成 27 年 11 月 19 日） ・インタビュー（平成 28 年 2 月 24 日） 講師：(株)竹中工務店 ダイバーシティ女性活躍推進グループ グループ長 久保 素子氏	JATES 会議室
◇見学会		
	第 100 回（平成 27 年 4 月 14 日）東芝未来科学館 第 101 回（平成 27 年 7 月 7 日）(株)日立ビルシステム 第 102 回（平成 27 年 9 月 1 日）産業技術総合研究所 第 103 回（平成 27 年 12 月 10 日）首都圏外郭放水路 第 104 回（平成 28 年 2 月 4 日）羽田クロノゲート	
◇編集委員会		
	第 95 回編集委員会（平成 27 年 5 月 15, 16 日） 第 5 回未来シリーズ（平成 27 年 6 月 5 日） 「未来のロボット」ラウンドテーブル 講師：前日本ロボット学会 会長（三菱電機） 小平 紀生氏 第 96 回編集委員会（平成 27 年 10 月 26 日） 第 97 回編集委員会（平成 28 年 1 月 15 日） 第 6 回未来シリーズ（平成 27 年 12 月 2 日） 「未来の介護」ラウンドテーブル 講師：チェリーコート四街道 介護長兼施設ケアマネージャー 大木 綾子氏 第 98 回編集委員会（平成 28 年 3 月 11 日）	

第7回未来シリーズ（平成28年3月11日） 「未来のゲーム」ラウンドテーブル  
 講師：(株)Cygames 常務取締役 木村 唯人氏

## 2-3 ライフサイクル・メンテナンス研究会

### (1) 活動の概要

社会インフラのメンテナンス事業分野に土木・建設業界はじめ、ICT業界、各種サービス業界などの幅広い産業界が如何に参画し、魅力的なメンテナンス事業を目指していけるか、という新たなビジネスモデル創出を検討する視点で、現場見学会ならびに講演会を実施しました。

平成27年度は下記のとおり実施しました。

- ・テーマ：社会インフラのライフサイクル全体を見通したメンテナンスのあり方
- ・研究会参加企業数：9社
- ・委員長：早稲田大学 教授 高田祥三氏

開催日	内容	開催場所
第118回研究会 平成27年4月17日	見学：羽田クロノゲート（ヤマト運輸） 国内と海外を繋ぐ、ヤマト運輸の最新巨大物流センター	東京（羽田）
第119回研究会 平成27年5月28日	講演：インフラの維持管理について 講師：国土交通省 総合政策局事業総括調整官 佐藤 寿延 氏	JATES 会議室
第120回研究会 平成27年6月17日	地方公共団体における民間活力の活用事例（その1） 講演：流山市の官民連携によるFM施策の取り組み 講師：流山市総務部財産活用課 ファシリティマネジメント推進室室長 寺沢弘樹氏	JATES 会議室
第121回研究会 平成27年7月23日	地方公共団体における民間活力の活用事例（その2） 講演：府中市における道路管理の包括管理委託 講師：府中市都市整備部 管理課 課長補佐 兼 インフラマネジメント担当副主幹 小林 茂 氏	JATES 会議室
第122回研究会 平成27年9月30日	講演：インフラ維持管理で活用できるロボット技術の最新状況 ～ロボット技術の検証公募とその検証状況から～ 講師：国土交通省 総合政策局 公事業企画調整課 施工安全企画室 室長 岩見 吉輝 氏	JATES 会議室
第123回研究会 平成27年10月30日	見学：仙台市下水道管理システムの運用状況（仙台市） 講演：仙台市下水道事業におけるアセットマネジメントとICT活用 講師：仙台市建設局 経営戦略室 室長 水谷 哲也 氏	宮城県仙台市
第124回研究会 平成27年11月26日	講演1：東北発コンクリート構造物の長寿命化を目指して ～ハイテクとローテクを駆使したメンテナンスの提案～ 講師：日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎 氏 講演2：「道路パトロール支援サービス」の取り組み ～道路管理を支援するクラウドサービス～ 講師：(株)富士通交通・道路データサービス 道路データサービス Team エキスパート 葛西 一良 氏	早稲田大学
第125回研究会 平成27年12月8日	見学：国土地理院・地図と測量の科学館 講演：地理情報システム・地理空間情報とは何か、その利用と提供 講師：国土交通省 国土地理院 企画部 研究企画官 永山 透 氏	茨城県つくば市
第126回研究会 平成28年1月27日	講演：東京都の橋梁・トンネルの維持管理施策の現状 講師：東京都建設局 道路保全担当部長 川合 康文 氏	JATES 会議室

## 2-4 技術競争戦略研究会

### (1) 活動の概要

本研究会は下記のテーマで実施しています。

- ・市場のグローバル化・多様化に対応して如何に柔軟に対応しているか
- ・如何に技術革新にチャレンジし、新しいビジネスモデルを展開しているか
- ・世界に通用する持続可能な実践的経営哲学を如何に確立しているか

第XI期は、企業を取り巻く環境変化に柔軟に対応して、イノベーションを起こし、グローバル市場開拓を目指して経営刷新を図っている企業の経営者から「具体的取り組み・経営哲学」をお話し頂くことを中心に実施しました。

### (2) 第XI期技術競争戦略研究会

- ・テーマ：日本から世界へ飛躍するオンリーワン企業経営に学ぶ実践的経営学  
～経営トップの実体験に学ぶ経営哲学・経営手法～
- ・委員長：政策研究大学院大学 名誉教授 橋本 久義 氏
- ・参加企業：16 社

開催日	内 容	開催場所
第1回研究会 平成27年4月23日	基調講演：震災復興と地域産業、モノづくり産業 講師：明星大学 経済学部 経済学科 教授 元一橋大学教授 関 満博 氏	JATES 会議室
第2回研究会 平成27年5月21日	見学：(株)エリオニクス グローバルニッチトップ100企業 講演：ナノテクノロジーは世界に負けるな ～研究装置で世界一の応援～ 講師：(株)エリオニクス 取締役会長 本目 精吾 氏	東京都八王子市
第3回研究会 平成27年6月18日	講演：世界の開発を支援する開発型メーカーを目指す 講師：(株)最上インクス 相談役 鈴木 三朗 氏	JATES 会議室
第4回研究会 平成27年7月16日	講演：その道世界NO1を目指して25年、そして今 講師：フロンティア・ラボ(株) 代表取締役 渡辺 忠一 氏	JATES 会議室
第5回研究会 平成27年8月20日	講演：十日町から世界へつなぐコネクター高速組立自動機 メーカー 講師：(株)メイケン 代表取締役 尾身 賢二 氏	JATES 会議室
第6回研究会 平成27年9月11日	講演：変化に対応した持続的成長を目指して 講師：日本航空電子工業(株) 代表取締役会長 秋山 保孝 氏	JATES 会議室
第7回研究会 平成27年10月15日	見学：吉野電化工業(株) 講演：常に一步未来を！表面処理技術を通じて社会に貢献！ 講師：吉野電化工業(株) 専務取締役 吉野 正洋 氏	埼玉県越谷市
第8回研究会 平成27年11月19日	講演：気力・体力・知力のある高齢者に「働く場」と「生きがい」を提供しよう 講師：(株)高齢社 代表取締役 幸山 明雄 氏	JATES 会議室
第9回研究会 平成27年12月22日	見学：セーレン(株) 講演：「のびのび・いきいき・ぴちぴち」で21世紀のグッドカンパニーを目指す 講師：セーレン(株) 代表取締役会長 最高経営責任者 川田 達男 氏	福井県坂井市
第10回研究会 平成28年1月21日	講演：モノづくりこそニッポンの砦 講師：(株)伊藤製作所 代表取締役社長 伊藤 澄夫 氏	JATES 会議室
第11回研究会 平成28年2月24日	講演：オンリーワン経営に学ぶ実践的経営学－総括－ 平成28年丙申騒ぐ年 臥龍経済日本の中小企業の未来 講師：委員長 政策研究大学院大学 名誉教授 橋本 久義 氏	JATES 会議室

第 12 回研究会 平成 28 年 3 月 24 日	見学：(株)小森コーポレーション つくばプラント 講演：社会文化を支える印刷機械づくりで「顧客感動企業」の実現 講師：(株)小森コーポレーション 執行役員 技術統括部長 船橋 勇雄 氏	茨城県つくば市
-------------------------------	---	---------

## 2-5 ICT 研究会

クラウドコンピューティングやスマートフォンの急速な普及など、ICT システムは益々重要になっています。今後の ICT 事業の成長を促進し、ICT 技術、ソリューションをリードしていくことの出来る、自律的な人材の育成を目的として、ICT に関わる企業の中堅幹部、エンジニアの方を対象に、幹部対話会や企業訪問研修等の活動を充実・強化して推進しました。

・参加者：9 社、13 名

## 2-6 センサーネットワーク研究会

センサーネットワークの最新動向についてサプライ側、ユーザー側、学界等、各領域の研究で活躍している方を講師として招きその領域での課題、研究要素、ビジネス化の課題等を認識・議論する研究会を月 1 回程度、開催しました。現在、30 社以上の企業が参加しています。

委員長：元ソニー(株) 執行役常務 渡辺 誠一 氏		
開催日	内 容	開催場所
第 74 回研究会 平成 27 年 4 月 2 日	講演：健康データや医療データの利活用で問題になるプライバシー保護 講師：東京大学 情報基盤センター 教授 中川 裕志 氏	JATES 会議室
第 75 回 平成 27 年 5 月 18 日	講演：IoT 社会を加速する“Data Fusion”の可能性 講師：オムロン(株) マイクロデバイス事業推進本部 本部長 関口 義雄 氏	JATES 会議室
第 76 回 平成 27 年 6 月 12 日	講演：インフラ保全に自動車用 MEMS の応用 講師：曙ブレーキ工業(株) 新規・センサー事業部担当 シニアエキスパート 国見 敬 氏	JATES 会議室
第 77 回 平成 27 年 7 月 17 日	講演：ウェアラブルデバイスの最近の動向と今後の展開 講師：神戸大学大学院工学研究科 教授 塚本 昌彦 氏	JATES 会議室
第 78 回 平成 27 年 10 月 29 日	講演：健康維持・増進のための歩行評価システム 講師：産業技術総合研究所 人間情報研究部門 デジタルヒューマン研究グループ 小林吉之氏	JATES 会議室
第 79 回 平成 27 年 12 月 15 日	講演 1：自立電源の微小なエネルギーを高効率に利用する 端末エネルギーマネジメント回路・センサー信号処理回路の開発 講師：(株)日立製作所 研究開発グループ 藤森 司 氏 講演 2：センサーネットワーク用超低消費電力無線通信技術の開発 講師：産業技術総合研究所 集積マイクロシステム研究センター 社会実装化センサシステム研究チーム 岡田 浩尚 氏	JATES 会議室
第 80 回 平成 28 年 2 月 23 日	講演 1：量子型赤外線センサーとそのガスセンサーへの応用 講師：旭化成エレクトロニクス(株) 執行役員 研究開発センター長 久世 直洋 氏 講演 2：マイクロ波無線送電技術のご紹介 講師：三菱重工業(株) 防衛・宇宙ドメイン宇宙事業部 宇宙機器部 主席技師 安間 健一 氏	JATES 会議室

## 2-7 アジアビジネス研究会

第Ⅲ期の研究会では、従来型の研究も一部踏襲した上で、ビジネス実践上必要とされる現地リスクマネジメントに関するテーマ研究についてケーススタディでの理解を深めるとともに、会員相互の議論を通じて相互の知見を共有しあう研究会としました。また、我が国の技術を活かしたインフラ輸出の拡大を図る「経協インフラ戦略会議」を支援するため、情報通信産業・交通産業を主軸に据えたインフラ輸出のための産業界のあり方を追求しその実現をより実効ある形にするための調査研究を実施し、ビジネス重視の官民一体の研究会としました。具体的活動は下記のとおりでした。

委員長：日本電信電話(株) 顧問 宇治 則孝 氏

開催日	内容	開催場所
第1回 平成27年4月23日	講演：政府のインフラシステム輸出戦略支援状況～経済産業省の取組 講師：経済産業省 貿易経済協力局 通商金融・経済協力戦略輸出室 室長補佐 伊藤建氏 講演：ICT 国際競争力強化・国際展開の推進 講師：総務省 情報通信国際戦略局 情報通信政策課調査官 渋谷 闘志彦 氏	ホテルグ ランドパ レス
第2回 平成27年5月29日	ケース発表①：社会・公共情報システムのアジア展開～ベトナムに おける土地管理システム導入プロジェクトについて 講師：(一財)国際情報化協力センター 企画部長 市川欽也氏 ケース発表②：NTT データのグローバルビジネス～インフラ輸出案件を中心に 講師：(株)NTT データ グローバルビジネス事業推進部 ビジネス企画室長 豊田 麻子 氏 ケース発表③：東京メトロの国際業務～ハノイ市都市鉄道整備事業 支援プロジェクト等 講師：東京地下鉄(株) 経営企画本部 国際業務推進室 課長 長谷川 収良 氏	ホテルグ ランドパ レス
第3回 平成27年6月25日	講演：ASEAN のビジネス環境～総論～ 講師：JETRO 海外調査部 アジア大洋州課 課長 池部 亮 氏 講演：NEXI(日本貿易保険)の海外ビジネス支援の取組み概況 講師：NEXI 総務部 総務・広報グループ長 中尾 圭助 氏 講演：JBIC のプロジェクトファイナンスの実務(リスク分析とリ スクコントロールの基本) 講師：JBIC プロジェクトファイナンス協議会 副議長兼事務局長 豊田 康平 氏	経団連会 館
第4回 平成27年7月22日	講演：ASEAN のビジネス環境～経済共同体 講師：JETRO 海外調査部 アジア大洋州課 課長 池部 亮 氏 ケース発表④：日本工営のインフラパッケージビジネスの取組み 講師：日本工営(株)執行役員アジア統轄事業部事業部長坂元雅信氏 ケース発表⑤：アジアにおける光海底ケーブル事業の取り組み 講師：NEC テレコムキャリアビジネスユニット海洋システム事業部 事業部長代理 緒方 孝明氏	ホテルグ ランドパ レス
第5回 平成27年9月30日	講演：インフラビジネスグローバル展開成功への期待 講師：国土交通省総合政策局海外プロジェクト推進課長平井節生 氏 講演：ODA を中心とした情報通信及び運輸交通への取組み 講師：JICA 社会基盤・平和構築部参事役兼運輸交通・情報通信グ ループ第1チーム課長 竹内 博史 氏 講演：ASEAN のビジネス環境～メコン地域発展について～ 講師：JETRO 海外調査部 アジア大洋州課 蒲田 亮平 氏	ホテルグ ランドパ レス

第6回 平成27年11月15日 ～19日	【特別プログラム】タイ・カンボジア インフラ事業・工業団地・政府機関 現地施策／意見交換 ポリティカルリスク・ディザスターリスクマネジメントの実態見聞	
第7回 平成27年11月30日	ケース発表⑥:ASEAN ビジネスにおけるリスクと対峙の仕方～一般事 業会社におけるアジア事業の経験～ 講師：(株)コーポレイト・ディレクション アジアビジネスユニット Director 小川 達大 氏	ホテルグ ランドパ レス

◇特別プログラム 参加者：総勢17名（現地参加者5名、委員長、事務局2名含む）

訪問国	訪問日	訪問先 ・ 現地対応者
タイ	11月16日	●ナワコーン工業団地 パナソニック 冷機デバイス タイ(株) NEC タイ 富士通タイランド
	11月17日	●パープルライン施設
カンボジア	11月18日	●南部経済回廊～つばさ橋～ ●ジェトロ・プノンペン事務所
	11月19日	●JICAカンボジア事務所 ●プノンペン経済特区社 ●住友電装カンボジア

## 2-8 F F会

当会が企画・運営の支援を行っているF F会は、原則として毎月第4金曜日に開催し、科学技術等に係わる諸問題についての卓話とそれに基づく議論を行っています。平成27年度は「TOCOG 2020年に向けた日本発信力」をテーマに掲げて、例会8回、見学会3回、研修会1回を支援しました。

## 2-9 現場のデータ活用を支援するデバイス/プラットフォーム調査研究委員会

アプリケーションが主導する先端デバイスとプラットフォームのあり方や市場を調査し、社会実装開発の広大な分野の開拓を研究する委員会を下記の通り開催しました。

委員長：日本電気(株) 執行役員 中央研究所担当 江村 克己 氏		
開催日	内容	開催場所
第3回研究会 平成27年4月15日	「先端デバイス/プラットフォームに対する医療分野でのニーズ」 東京大学大学院工学系研究科 医療福祉工学開発評価研究センター 学術支援専門職 片山 國正氏	JATES 会議室
第4回 平成27年6月1日	「家電業界のプラットフォーム」 ソニー(株) ソニーユニバシティ学長 青木 昭明氏	JATES 会議室
第5回 平成27年6月24日	「プラットフォーム戦略(R)とビジネスモデル構築」 (株)ネットストラテジー代表取締役社長 平野敦士カール氏	JATES 会議室
第6回 平成27年8月31日	「グリーンセンサネットワークプロジェクトの成果」 グリーンセンサネットワーク研究所所長 前田龍太郎氏	JATES 会議室
第7回 平成27年9月3日	「統合ファブレス生産：IoT時代の可能性と挑戦」 Dr. Dim Lee Kwong, Executive Director, Microelectronics Laboratory, A*STAR, Singapore	JATES 会議室

第8回 平成27年11月27日	「IoT時代の新たなパブリック・ヘルスの実現」 (株)ソニーCSL シリアリサーチャー 桜田 一洋氏	JATES 会議室
第9回 平成28年1月26日 ～1月27日	オムロン(株)野洲事業所見学およびディスカッション	オムロン(株) 野洲事業所 ラフォーレ 琵琶湖

### 3 普及啓発事業

#### 3-1 月刊機関誌「技術と経済」の発行

科学技術と経済の会の各研究会の活動成果を広く普及啓発するため、各研究会の講演録を主体とする構成とし、日本MO T学会の査読論文も加えて、掲載記事の内容の充実を図りました（特集テーマについてはWebサイトに掲載）。

発行号数は平成27年度末で589号となりました。

#### 3-2 「技術経営・イノベーション賞」の表彰実施

平成27年度の「技術経営・イノベーション賞」は、優れたイノベーション案件の幅広い発掘を重点にするとともに、協賛機関として（一財）新技術振興渡辺記念会の参加を得て実施しました。

(1) 第4回表彰式 平成28年2月15日 ホテルグランドパレス

- ①主催者挨拶：（一社）科学技術と経済の会会長 野間口 有  
 ②来賓挨拶：文部科学省 科学技術・学術政策局長 伊藤 洋一 氏  
 経済産業省 大臣官房審議官 星野 岳穂 氏

#### ③受賞テーマと受賞者

表 彰	テーマ	受賞者
文部科学大臣賞	自動車の次の100年に向けたMIRAIの開発	トヨタ自動車(株)
経済産業大臣賞	航空機用炭素繊維複合材料の開発	東レ(株)
科学技術と経済の会会長賞	瀬祭の取り組み	旭酒造(株)
科学技術と経済の会会長賞	世界貴重文献資産のデジタル保存における新たな事業モデル構築の取り組み	(株)NTTデータ
科学技術と経済の会会長賞	「インターナビ」のプロブデータを用いた快適、安全、安心な運転環境実現への取り組み	本田技研工業(株)
科学技術と経済の会会長特別賞	PAN系炭素繊維の発明と実用化への貢献	(国研)産業技術総合研究所 進藤 昭男 氏

#### 3-3 ホームページの活用

会員や社会との情報共有に向けて、主なイベント情報、研究会情報等の迅速かつ明確な内容の掲載を行い、情報発信力の強化を図りました。

#### 3-4 名古屋支部の活動

支部活動を通じた会員相互の緊密な連携を図るため、談話会（10回）及び講演会ならびに企業見学会（1回）等の活動を実施しました。

### 4 国際活動事業

アジアビジネス研究会の活動の一環として、タイ・カンボジアに訪問団を派遣しました。アジア諸国の産業政策、特にリスクマネジメントの現地調査として工業団地や進出企業、JICA海

外事務所を訪問するとともに、海外インフラ整備状況と日本の役割を調査研究するため、タイ・バンコクのパープルライン（地下鉄）関連施設と、南部経済回廊を機能させるメコン川に架かるネアックルン橋の現地調査を実施し、海外ビジネス状況の理解を促進しました。

## 5 受託・助成事業

平成 27 年度は下記の受託・助成事業を実施しました。

### 5-1 産業におけるウェアラブルコンピュータの現状とその有効活用に関する調査研究(研究助成)

(1) 助成機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会

(2) 期 間：平成 27 年 4 月～平成 27 年 9 月

(3) 調査研究の概要：

一時期話題となったウェアラブルコンピュータが技術の進歩により再び注目されている。当時は利用目的を明確に示せなかったことが一過性で終わった要因であった。そこで今日の産業におけるウェアラブルコンピュータの魅力的なユースケースについて調査し、報告書としてまとめた。

### 5-2 災害対策のための計測技術の現状と展望に関する調査研究 (研究助成)

(1) 助成機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会

(2) 期 間：平成 27 年 10 月～平成 28 年 3 月

(3) 調査研究の概要：

災害に強い社会インフラが求められている。計測技術の進歩・導入によって気象に関する予測の精度は向上しているが近年のゲリラ豪雨、土砂災害などは見逃すことが多い。そこで災害対策のための計測技術の現状と展望に関する調査研究を行った。

### 5-3 IOE 時代のインダストリー・プラットフォームに関する調査研究」(受託研究)

(1) 委託機関：(一財) 新技術振興渡辺記念会

(2) 期 間：平成 27 年 10 月～平成 28 年 12 月

(3) 調査研究の概要：

情報通信技術の一層の進展により、あらゆる”モノ”や”コト”をインターネットでつなぐ IoT (Internet of Things) / IoE (Internet of Everything) 技術が、今後の産業界・一般社会でのイノベーションを生み出すと言われる。ドイツは既に 2011 年末に IoT を用いた産業の高度情報化戦略「Industrie 4.0」計画を打ち出しており、米国では GE を中心に最新の経営戦略と言われる”プラットフォームビジネス戦略”も視野に入れた「Industry Internet」計画を立ち上げている。日本企業は技術には強いが収益を上げるのが不得手とされる。IoT/IoE 技術の活用と共に、その収益化に繋がるプラットフォームビジネス手法について先行して学んでおくことが日本企業にとって重要である。これまでの経営研究活動の成果を背景に、産業界および政府施策に資するべく調査研究を行う。

### 5-4 事務局受託業務

(1) 委託機関：(一社) 技術同友会

(2) 契 約 日：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

(3) 業務概要：例会・幹事会・委員会運営、助成事業、技術経営士認定制度関連事務等

## 6 永年表彰

永年会員表彰：特別会員 2 社、個人会員 12 名

## 7 創立 50 周年特別記念行事

平成 28 年度は当会が発足して 50 年を迎えます。これまでの 50 年と今後の 50 年を視野に入れた記念行事を推進するため、下記の運営検討会を立ち上げ、メンバーからご意見、ご指導をいただきました。

- ・第 1 回 50 周年記念事業企画運営検討会 平成 28 年 1 月 13 日 於 JATES 会議室
  - ・企画運営検討会について
  - ・今後の本会のあり方
  - ・記念事業の進め方

## 8 会の動き

### 8-1 会員数

平成 27 年度末における個人会員、特別会員の状況は下表のとおりとなりました。名誉会員は佐々木元、武安義光、豊田章一郎の 3 氏であります。

区 分	平成 26 年度末	平成 27 年度末	平成 27 年度		増 減
			入会	退会	
個人会員	4 6 9	4 1 3	6	6 2	△ 5 6
特別会員	9 1	9 2	6	5	1

### 8-2 事務局

平成 28 年 3 月 31 日現在の職員は 15 名で、内訳は、技術経営会議 3 名、明日の経営を考える会 1 名、調査研究部 2 名、事業部 3 名、編集部 1 名、技術同友会事務局 2 名、総括部 3 名で構成しています。この中 8 名は出向者です。

### 8-3 諸会議

開催日	内容	開催場所
第 153 回理事会 平成 27 年 4 月 23 日	・平成 26 年度事業報告・決算報告(案)について ・平成 26 年度公益目的支出計画実施報告(案)について ・理事・監事の選任(案)について	ホテルグラ ンドパレス
第 49 回通常総会 平成 27 年 6 月 2 日	・平成 26 年度事業報告・決算報告(案)について ・平成 26 年度公益目的支出計画実施報告について ・理事・監事の選任(案)について	
第 154 回理事会 平成 27 年 10 月 28 日	・平成 27 年度上期事業報告について ・第 4 回技術経営・イノベーション賞の実施状況について ・平成 27 年度上期代表理事・業務執行理事業務報告について	JATES 会議室
第 155 回理事会 平成 28 年 3 月 24 日	・平成 28 年度事業計画・収支予算(案)について ・第 4 回「技術経営・イノベーション賞」表彰の実施について ・次期総会における永年会員感謝状贈呈者について ・平成 27 年度下期代表理事、業務執行理事業務報告について	

### 【事業報告の附属明細書】

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しない。